

港区派遣型一時保育・育児支援家庭訪問 あい・ぽーと子育てサポート事業

利用会員の皆様へ カバイ通信 第27号

「カバイ」とは、ニュージーランドのマオリ語で「ありがとう」という意味です。この事業は、ニュージーランドのプレイセンターの活動に学ぶ面もあって、マオリ語を用いています。

2013年2月15日

特定非営利活動法人あい・ぽーとステーション発行

代表理事：大日向 雅美・新澤 誠治

住所：〒107-0062

東京都港区南青山 2-25-1

電話：03-5785-1577

FAX：03-5786-3264

「カバイ通信」は、2月・5月・8月・11月との15日に発行します。

ホームページから、ご覧になれます。http://www.ai-port.jp/



～支援会員より～

★4歳と5歳の男子のお子様の送迎、1人はお母様が帰られる迄家でのお留守番をしております。4月から2人共進級です。お子様はこの半年、びっくりする程しっかり大きくなりました。今、この大切な時に可愛い2人と関われる事をとても嬉しく思います。あいぽーとを紹介して下さった友人そしてあいぽーとに感謝をしています。(仲田さん)

★派遣型一時保育を始めてまだ数ヶ月。お子様から純粋なパワーをいただき、利用者様からは「助かりました」と笑顔や温かいお言葉をいただき、支援を始めてよかったと実感しております。人と人との出会いも大切にしていきたいと思っています。

(宇都さん)

～日ごろより利用者会員の方よりうれしいメッセージをお寄せいただいております～

★支援会員の方が研修を受け、子育て経験があるため、とても信頼できる。また、費用も良心的で継続して利用できる。

★子どもを安心して預けられ、心のリフレッシュができ、子どもともっと楽しく過ごせるようになった。子ども自身が親から少し離れることで、少しお姉さんになった。親の体調が良くなった。

★自分が病気(水疱)になった際、当日の急なお願いを受けてくださり、とても助かりました。

★双子の外遊びを1人では不安でしたが、支援者さんと一緒だったので、いろいろなお話を通じて、母である私もリフレッシュできました。

◇◆利用者さまへのお願い◆◇

病後児保育に関するお願い

寒さがぐっと厳しくなり、風邪や嘔吐下痢など、さまざまな感染症にかかることも多い時期です。病後児保育を利用する場合は、「会員のしおり」にも記載の通り、「港区病後児保育派遣利用連絡票」の届けが必ず必要となります。尚、感染拡大を防ぐ観点から、利用者会員の皆様には下記の点についてご協力願います。

- 病状が不安定(高熱など)または感染の恐れがある場合のご利用はご遠慮ください。
- 保護者の急病時の保育などの場合は、お子様の体調についても十分に確認をし、別室に保育場所を設けるなど感染を防ぐご配慮をお願い致します。
- 支援会員本人もしくはその家族が感染症に感染した場合、1週間前後支援をお休みさせていただきます。利用者様へは速やかにご連絡を差し上げますので、ご了解ください。
- その他、支援の依頼をする際は、事前にお子様(ご家族)の体調についてお伝えくださることなど、日頃から心がけてくださいますよう、お願いいたします。

◇◆事務局より◆◇

事前打ち合わせの結果報告について

支援会員と事前打ち合わせをされましたら一週間以内に事務局へ結果をご報告下さい。この報告がないと利用されないものとみなし、支援会員に他の利用会員を紹介することもありますので、必ずご連絡をお願い致します。

(事前打ち合わせ後一週間以上経った方でも、結果報告がまだの方は至急ご連絡下さい。)

事務局体制について

2013年1月より、事務局スタッフが変わりました。大日向施設長のもと、古閑室長、野原、松本(春美)、影山、宇都で、皆様のニーズに添うよう努めて参りたいと存じます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

※「カバイ」通信は、8月、11月、2月、5月の15日に発行しますので、ホームページからご覧下さい。(http://www.ai-port.jp/) 尚、ご覧頂けない場合は、FAX又はご郵送いたしますので、お手数ですがお電話にて事務局までお知らせ下さい。